



青森県立自然ふれあいセンター機関誌

ギンラン

発行／青森県立自然ふれあいセンター 〒038-1301 青森県青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢1-1
 TEL 0172-62-4527 FAX 0172-62-8510 URL <http://www.bonjyu-furesen.info/> メールアドレス bonjyu@jomon.ne.jp

□ 行事レポート □

● 野鳥観察会～津軽富士見湖から十三湖にかけて～
4月7日(日)



● 梵珠の森 春のふれあいデー
4月27日(土)・28日(日)



● 梵珠山撮影登山～春の花の時期に～
5月3日(日)



● 新緑トレッキング～ブナ岱を経て梵珠山へ～
5月12日(日)



● 梵珠山縦断トレッキング(空沼～梵珠山)
6月2日(日)



● 初夏の花旅～松森山の花を訪ねて～
6月23日(日)



●「キバラヘリカメムシ」ヘリカメムシ科 鳴海 富美子（津軽昆虫同好会）

ニシキギ科のマユミやコマユミ等につき、実葉等から汁を吸う。漢字では「黄腹縁亀虫」と表記され、腹部が黄色で翅が細長いため上から見ると黄色い腹部がはみ出して見え、平らな背中が亀の甲羅に似ていることに由来しているようだ。腹部のヘリは黄色と黒の縞模様、脚は白と黒の配色、触角の先端は赤色をしている。幼虫は翅が短いので、腹部の黄色がむき出しになっていてよく目立つ。卵は赤褐色で長径15mm、短径が1mmほどの楕円形で、何十個も並べて産み付けられている。

マユミやコマユミが紅葉し、果実が熟す頃にはいつの間にかたくさん卵・幼虫・成虫が群れを成して葉上に集まっていて、たいへん賑やかである。同じ時に生まれても成長の早さには違いがあるようで、大きさもまちまちなので、若齢幼虫から成虫になるまでの過程を一度に見ることが出来る珍しい昆虫であり、見ていて飽きることはない。あまり動き

回ることはなく、じっとしていることが多い。

以前は東北地方を北限としていたが、近年では北海道でも見られるようになり、北海道から沖縄まで分布している普通種であるが、数は少ないようである。

梵珠では9月中旬から10月中旬にかけてよく成虫が見られ、年1回の発生で、成虫越冬である。また、時々色彩の違うものが見られて驚くことがある。

匂いはさわやかな「青いりんご」の匂いと言われているが、私はまだ嗅いだことはない。でも、近づいてもあのカメムシ特有の嫌な匂いがしないのは確かである。一般にカメムシというと独特の嫌な匂いを出す虫として嫌われているが、種類によって匂いも異なり、色や形は変化に富んでいて美しい種類もある。



成虫と幼虫



幼虫と卵（右上）

生物暦（2023年）		9月		☀️☁️☔️：天気		植物		野鳥	動物	昆虫	は虫類・両生類																			
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
観察できたもの	アナグマ	イヌタデ・カラハナソウ	ツルリンドウ・ジャコウソウ	アカネズミ・テン・キツネ	ヨタカ・ヒヨドリ・カケス	ミソバ・オトコエシ	ツキノワグマ	ニホンザル・ヤマドリ	アキノウナギツカミ	シロツリフネ・ケチヂミササ	スジグロシロチョウ	カラハナソウ・ミドリヒョウモン	オオウラギンスジヒョウモン	クサフジ・オニヤンマ	カケス・カナヘビ	リス・ニホンザル	オクトリカブト・オトコエシ	ニホンザル	ノシメトンボ・ミドリヒョウモン	リス・ヤマドリ・カワガラス	ノシメトンボ・オオスズメバチ	キイロスズメバチ	コゲラ・コガラ・エナガ	ノコンギク・カナヘビ	キジバト・オオアカゲラ	ヒガラ・ヤマガラ	ニホンザル・リス	マムシ・シマヘビ	クマタカ・シジユウカラ	コガラ・アカゲラ
天	☀️	☔️	☀️	☀️	☀️	☔️	☀️	☀️	☀️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☀️	☀️	☔️	☀️	☔️	☔️	☀️	☀️	☀️	☀️	☔️	☀️	☔️	☀️	☔️	